

「真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス」を開催しました

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

1 開催概要

(1) 開催日時

令和3年12月2日(木) 14:00~19:30

令和3年12月5日(日) 10:30~16:30

(2) 開催場所

南区民センター (12/2:2階 視聴覚室A・B、12/5:1階 第1・第2会議室)

(3) 開催形式

会場内にパネルや資料をご用意し、常駐した職員が説明させていただき、みなさまからのご質問やご意見をお受けしました。

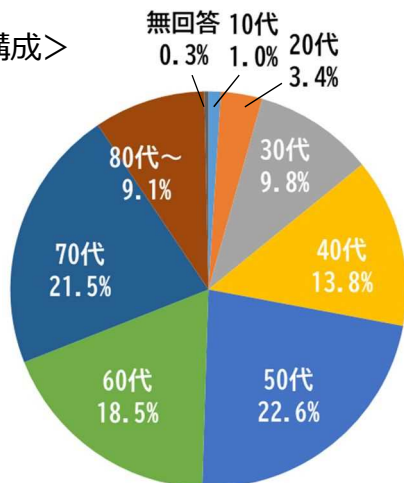
2 来場者数

2日間合計 約400名 (12/2:約130名、12/5:約270名)

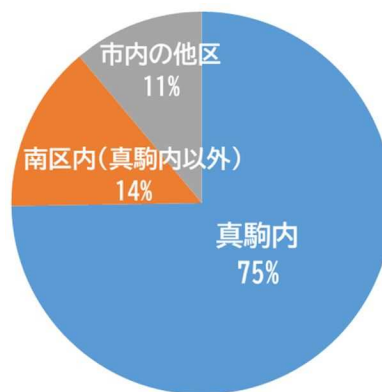
3 来場者属性

※受付においてご回答いただいた297名の方の集計です

<年代構成>



<お住まい>



(状況写真)



4 掲示したパネル等

【メインパネル】

現在の検討状況と、2つの土地利用計画案をお示しました。

- ◆パネル① 現状と課題等
- ◆パネル② 検討の経緯
- ◆パネル③ 土地利用計画2案

真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス パネル①

① まちづくりの現状と課題

現状

- ＜概要＞
 - 中心部、商業地の開発が進展
 - 商業、観光、教育、文化などの多様な地域環境
 - 周辺に公共施設が充実
- ＜課題＞
 - 2050年までに人口減少、少子高齢化の進行
 - 通勤時に公共交通機関が不足
 - ＜課題＞
 - 公共施設等の充実
 - 少子高齢化に対応した生活環境の整備
 - 都市緑地の確保と公共交通

② 真駒内駅前地区まちづくり指針 (平成25年5月策定)

基本方針

真駒内駅周辺をより魅力的な拠点として、駅前地区の活性化を図ることを目指す

- 駅前地区の活性化を図る
- 駅前地区の活性化を図る

当面の取組み

公共施設の充実が具体化するまで、限られた真駒内駅の敷地・タワンドを活用

「まちづくり」として活用

将来的な取組み

駅前地区の土地利用を計画し、駅前地区の活性化を図ることを目指す

「真駒内駅前地区まちづくり計画」の策定を目指す

パネル①

真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス パネル②

③ まちづくり計画策定までの検討の流れ

④ 第1回 南区民アンケート調査結果

土地利用再編を推進すること (真駒内地区に於ける) の方向

項目	賛成	反対
土地利用再編を推進すること	75%	25%
駅前地区の活性化を図ること	85%	15%
駅前地区の活性化を図ること	80%	20%
駅前地区の活性化を図ること	70%	30%
駅前地区の活性化を図ること	60%	40%
駅前地区の活性化を図ること	50%	50%
駅前地区の活性化を図ること	40%	60%
駅前地区の活性化を図ること	30%	70%
駅前地区の活性化を図ること	20%	80%
駅前地区の活性化を図ること	10%	90%

⑤ まちづくりの基本方針 (第2回 検討委員会・地域協議会)

基本方針1: 「駅前地区の活性化を図ること」を基本とする

- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること

基本方針2: 「駅前地区の活性化を図ること」を基本とする

- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること

基本方針3: 「駅前地区の活性化を図ること」を基本とする

- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること

⑥ 再編コンセプトのイメージ図 (第3回 検討委員会・地域協議会)

パネル②

真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス パネル③ 【土地利用計画案】

交流広場

～人々の交流、にぎわいの創出を促す広場空間～

- 人々の交流を促す広場
- 地域イベントの開催
- イベント開催広場の整備
- 交流広場の整備

交通広場

～地下鉄バス、タクシーの乗降利便の向上を目指す広場空間～

- バス乗降場: 待降場の高しやせしめ、送迎設備に配慮
- バス乗降場: 待降場の高しやせしめ、送迎設備に配慮
- バス乗降場: 待降場の高しやせしめ、送迎設備に配慮

A街区

～南区民の豊かな生活を支える都市機能の集積～

A1街区

- 生活利便性向上による商業施設
- 生活利便性向上による商業施設

A2街区

- 生活利便性向上による商業施設
- 生活利便性向上による商業施設

B1街区

～行政機能・公共サービス機能の集積・複合化～

- 行政機能の集積
- 行政機能の集積

B2・C街区

- 生活利便性向上による商業施設
- 生活利便性向上による商業施設

駅前通り

～駅前地区の活性化を図ること～

- 駅前地区の活性化を図ること
- 駅前地区の活性化を図ること

安全・安心な歩行者ネットワーク

～歩行者ネットワークの整備～

- 歩行者ネットワークの整備
- 歩行者ネットワークの整備

案1 駅と駅前街区を歩行者空間でつなぎ、公共交通主体のまちづくりを目指す

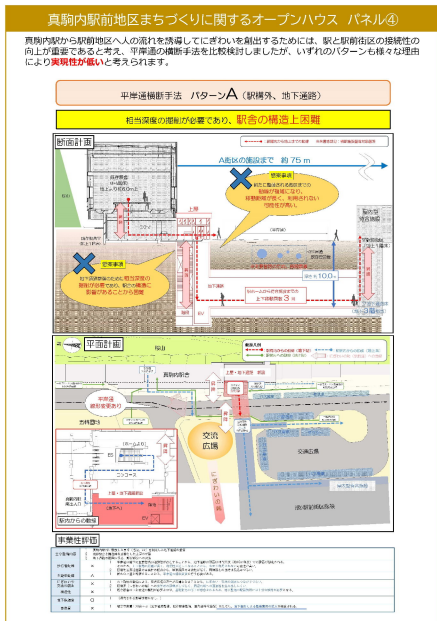
案2 現状の道路網を活かしたまちづくりを目指す

パネル③

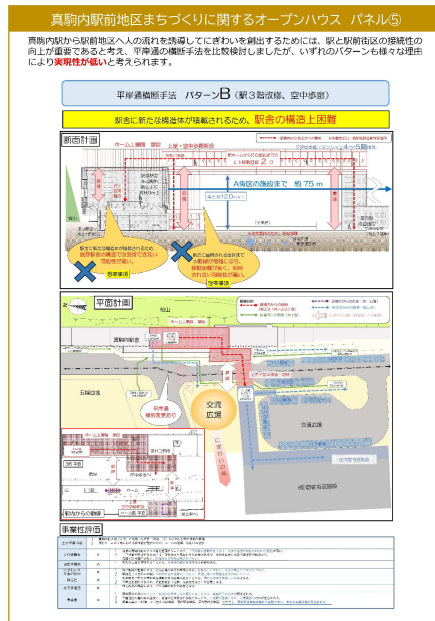
【参考パネル】

土地利用計画案の作成にあたって事前に検討し、課題等を確認したものを示しました。

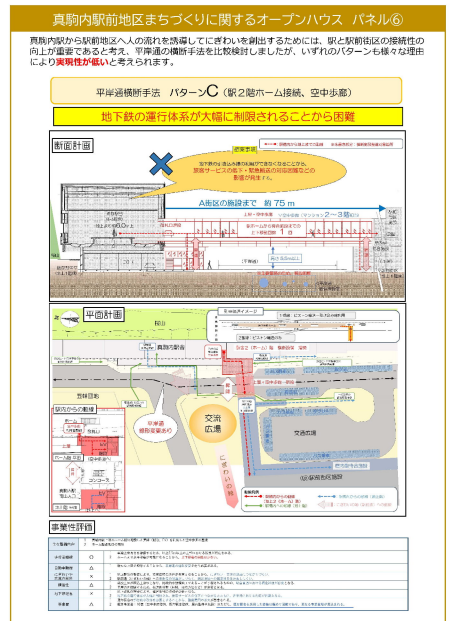
- ◆パネル④ 平岸通横断手法パターン A (地下通路)
- ◆パネル⑤ 平岸通横断手法パターン B (3階空中歩廊)
- ◆パネル⑥ 平岸通横断手法パターン C (2階空中歩廊)



パネル④



パネル⑤



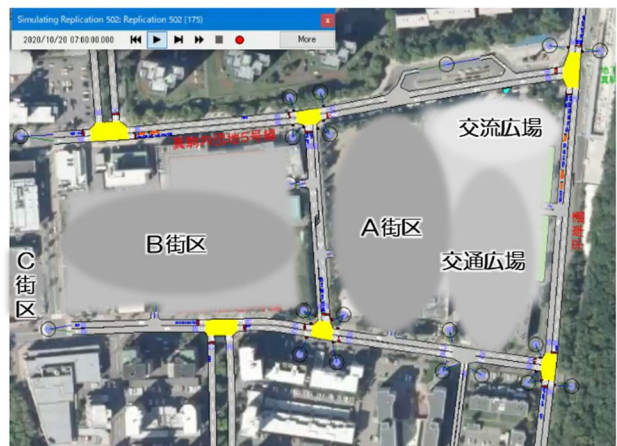
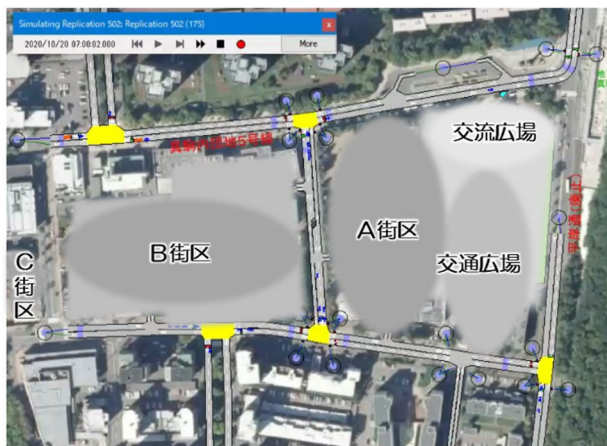
パネル⑥

【交通シミュレーション動画】

開発による新規需要を加味した将来の交通量を推計し、土地利用計画2案ともに、大きな渋滞などの支障は発生しないことを動画でお示しました。

案1 駅と駅前街区を歩行空間でつなぎ
人・公共交通主体のまちづくりを目指す案

案2 現状の道路網を活かしたまちづくりを目指す案



凡例 ■：青色車両（一般車両） ■：赤色車両（バス等）

交通シミュレーション動画

5 いただいたご意見の概要

- 直接意見交換ができる機会は有意義であったという声を多くいただきました。
- 2つの土地利用計画案について、各案に対する賛否を含め、様々なご意見をいただきました。
- 若年層、子育て世代の意見もしっかり聴取すべきというご意見をいただきました。
- 駅前地区だけでなく、真駒内地域全体について広い視野で検討を進めるべきというご意見をいただきました。

分類	ご意見の概要
土地利用計画案 に関すること	<p>【案1が望ましいとするご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前のにぎわい創出のため、駅と駅前街区の直結化が望ましい。 ・案1は、天候に左右されずにバスに乗り継いだり、開発される施設に入ることができるので、高齢者や子育て世代にも優しいまちになる。 ・これからの時代は、自動車よりも人の環境を重視すべきである。 ・自動車であれば、この程度の距離の迂回による支障は少ないと考える。 ・案1は、乱横断などの交通課題も副次的に解消することができる。 ・民間事業者の投資意欲が向上する観点は重要である。 <p>【案1に対するその他のご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーブ部をさらに緩やかにしたり、各交差点の信号の連動性を高め、通行の円滑性を確保する必要がある。 ・迂回ルートとなる道路は幅員の拡幅が必要である。 ・送迎のために南側からアクセスする際に、より利便性の高いところに駐車スペースが必要である。 ・平岸通のアンダーパス化、オーバーパス化が困難であることはわかったが、コの字のルート以外にも円滑に通行できる代替ルートを検討してほしい。 <p>【案2が望ましいとするご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案1では、平岸通の迂回により通行する距離・時間が増え、自家用車や緊急車両の利便性・速達性が低下する。 ・案1の道路形状は、まちの外周を通行していた車両をまちの中に呼び込む可能性があり危険である。 ・案1の道路形状は、円滑性が低下し、交通渋滞が発生する恐れがある。 ・案1では、迂回ルート上に交差点が増えるので、人と車両が交錯する機会が増え、交通事故が増加する恐れがある。 ・案1では、バスやタクシー利用者の利便性向上に偏っているのではないか。 <p>【案2に対するその他のご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平岸通に大屋根をかけて、天候に左右されない環境を作るのはどうか。

<p>まちづくり全般 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前地区のまちづくりによって、真駒内全体、南区全体をどうしていくかのビジョンが必要である。 ・大規模団地の解体も進んでいるので、駅前地区だけでなく、真駒内全体のまちづくりを検討すべきである。 ・自動車利用の減少などの大きな社会的傾向を踏まえた将来のまちづくりの考え方についても、もっと積極的に発信するべきである。 ・特に開発はせず、現状の真駒内地域の環境を保持してほしい。 ・派手にぎわいは不要であり、都心部とは異なる真駒内らしいにぎわいを求めるべきである。 ・真駒内駅を抜本的に建替え・大規模改修して、駅ビルを整備すべきである。 ・若年層、子育て世代の呼び込みが重要であるため、それらの世代の意見もしっかり聴取すべきである。 ・駅前に商業施設が必要であるが、既存商店との共存には十分配慮すべきである。 ・夜になると駅前も暗くなってしまい不安なので、ある程度の明るさがある安心安全なまちづくりに期待している。 ・桜山を開発することによって、駅裏の活用も検討すべきである。
<p>平岸通の横断手法 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅と駅前街区の直結化は重要であるが、駅舎の構造上の理由や、複数回の上下移動による利便性の低さから、地下通路や空中歩廊による接続は現実的でないことがわかった。 ・駅舎の建替えや大規模改修、地下鉄の運行調整による、ホーム階直結の空中歩廊や地下通路での接続についても検討すべきである。 ・エレベーター・エスカレーター併設であれば、駅を出てから歩道橋形式で横断するのも良いのではないか。
<p>交通環境 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗り場が分散しているので、集約して分かりやすくしてほしい。 ・特に南側からのアクセスに対応した、十分な一般送迎車両スペースを整備してほしい。 ・一時利用だけでなく、通勤利用や長時間駐車ができる駐車場を整備してほしい。 ・駅に近接したところにタクシー乗り場を整備してほしい。 ・南北のバス通り（グリーンベルト）を接続し通過できるようにしてほしい。 ・交通シミュレーションについて、案1の場合でも車両がスムーズに通行できることは理解したが、冬季の場合についても十分検討すべきである。 ・桜山の東側から真駒内駅にアクセスできるルートがあると良いのではないか。 ・駅から桜山登山口までの歩道整備は望ましい。 ・真駒内地域内の循環バスがあると良いのではないか。 ・レンタサイクルを導入すると良いのではないか。

<p>交流広場 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前イベントやお祭りが開催されることで、地域のにぎわい・交流の中心となることを期待している。 ・ 空虚な空間とならないよう、規模や使われ方を十分検討してほしい。 ・ 冬季も十分に活用される工夫が必要である。
<p>各街区の機能 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真駒内らしいおしゃれな空間の整備に期待する。 ・ 都心まで出かけなくてもおおよその用事が済むように、様々な用途が集約された施設が望ましい。 ・ ある程度の飲食店も必要である。 ・ バス待ち時間をつぶせるカフェなどが入居してほしい。 ・ 働く場所が増えると定住する人も増えるのではないかな。 ・ 勉強ができるスペースがあれば、学生達が滞留してにぎわうのではないかな。 ・ 子どもも楽しめる施設が入居してほしい。 ・ 文化や芸術などといった、真駒内らしさや特色を生かした施設が整備されてほしい（絵画や趣味の作品を展示するスペースなど）。 ・ 大学や研究機関を誘致することで、若年層や道外人材も呼び込めるのではないかな。 ・ 個人がチャレンジ的に出店できる区画があると良いのではないかな。 ・ 交番を駅前に移転することで、より安心安全なまちになるのではないかな。 ・ 定山溪をはじめとする南区各地のほか、市外（ニセコなど）への観光窓口があると良いのではないかな。
<p>景観 に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜山や真駒内川、既存の街路樹などの景観を残してほしい。 ・ 整備される建物は、周辺環境と調和した外観・高さとなることが望ましい。 ・ 景観の良さが真駒内の特徴でもあるので、景観について議論する場も必要である。
<p>オープンハウス に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の意見を述べる機会が設けられてよかった。今後もこのような機会を設けるべきである。 ・ 説明があって理解が深まったが、混雑時には説明を受けられずに帰ってしまう人もいた。 ・ 混雑しておりパネルが見えにくかった。